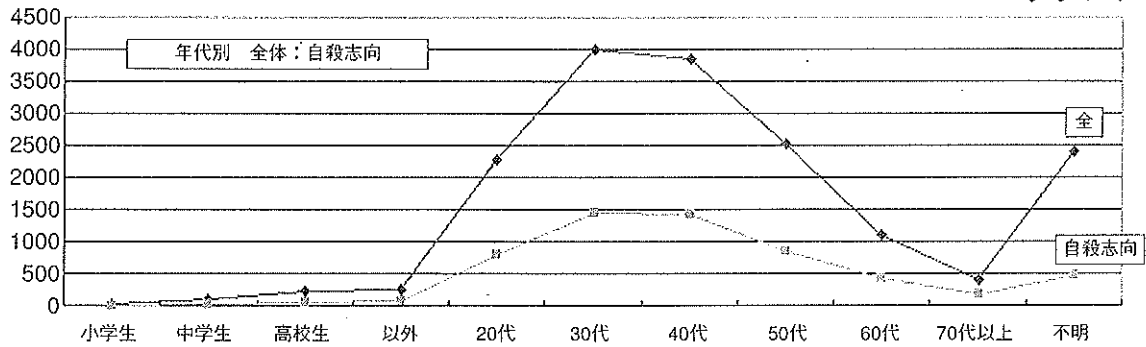


(4) 受信状況統計

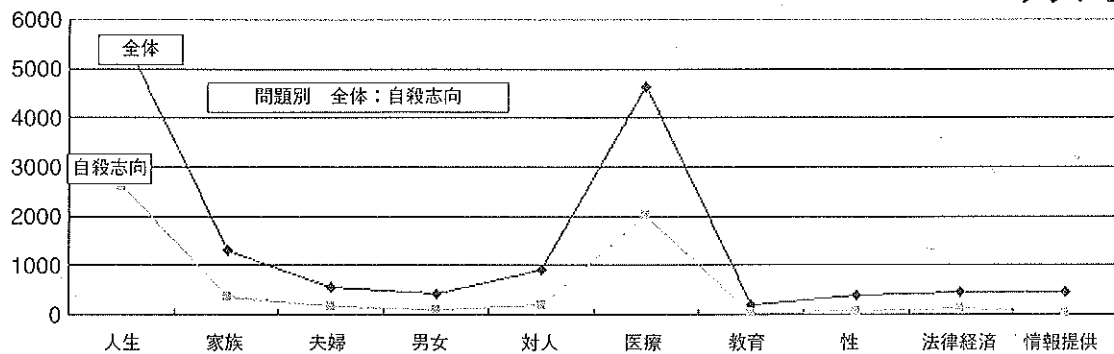
フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」 2007年9月～2008年3月（毎月10日8:00～11日8:00 24時間）
 (表1)

センター	全体			%	内自殺志向			2006年 受信件数 合計	内自殺志向
	男	女	総計		男	女	計		
01. 旭川	295	200	495	21.0%	55	49	104	247	58
02. 北海道	231	143	374	20.1%	38	37	75	279	58
03. あおもり	88	78	166	42.2%	35	35	70	134	47
04. 秋田	139	131	270	52.2%	62	79	141	139	62
05. 盛岡	83	73	156	41.7%	31	34	65	144	47
06. 仙台	274	199	473	32.8%	63	92	155	494	161
07. 山形	157	106	263	39.2%	54	49	103	252	73
08. 福島	269	147	416	34.9%	83	62	145	202	68
09. 新潟	183	135	318	30.2%	54	42	96	289	90
10. 長野	187	156	343	32.4%	57	54	111	143	85
11. 群馬	249	130	379	32.2%	69	53	122	240	88
12. 栃木	287	158	445	37.8%	98	70	168	263	79
13. 足利	215	163	378	35.4%	72	62	134	116	43
14. 茨城	340	194	534	33.9%	89	92	181	420	102
15. 埼玉	182	150	332	33.7%	53	59	112	200	72
16. 千葉	225	123	348	28.7%	47	53	100	379	79
17. 東京	295	191	486	28.4%	68	70	138	383	100
18. 東京多摩	199	115	314	36.6%	68	47	115	259	64
20. 川崎	197	128	325	30.5%	55	44	99	305	88
21. 横浜	252	174	426	27.0%	56	59	115	442	104
22. 山梨	107	79	186	23.1%	21	22	43	180	41
23. 静岡	85	59	144	33.3%	27	21	48	136	45
24. 浜松	171	120	291	33.3%	54	43	97	265	82
25. 岐阜	208	130	338	38.2%	77	52	129	113	42
26. 名古屋	293	170	463	23.5%	53	56	109	399	112
27. 三重	78	71	149	30.2%	19	26	45	132	50
28. 京都	338	209	547	38.2%	126	83	209	529	191
29. 奈良	219	151	370	36.8%	68	68	136	316	115
30. 関西	277	172	449	33.2%	79	70	149	345	99
31. 神戸	228	116	344	36.6%	74	52	126	227	116
32. はりま	194	117	311	23.8%	39	35	74	124	34
33. 和歌山	200	135	335	35.8%	59	61	120	204	52
34. 鳥取	211	149	360	35.8%	70	59	129	265	84
35. 島根	254	174	428	27.1%	61	55	116	404	103
36. 岡山	216	163	379	36.4%	63	75	138	358	110
37. 広島	296	139	435	36.8%	91	69	160	387	109
38. 徳島	75	58	133	45.9%	31	30	61	161	39
39. 香川	222	170	392	41.8%	92	72	164	353	133
40. 愛媛	254	164	418	39.5%	93	72	165	234	96
41. 高知	95	90	185	12.4%	16	7	23	146	28
42. 北九州	301	183	484	31.0%	80	70	150	431	124
43. 福岡	269	166	435	43.9%	101	90	191	380	149
44. 佐賀	176	158	334	38.6%	70	59	129	209	79
45. 長崎	242	175	417	37.6%	73	84	157	222	57
46. 熊本	220	141	361	30.5%	56	54	110	341	89
47. 大分	271	165	436	34.4%	79	71	150	400	104
48. 鹿児島	288	180	468	32.5%	74	78	152	474	122
49. 沖縄	166	155	321	38.6%	52	72	124	314	110
2007年度計	10,301	6,853	17,154	33.5%	3,005	2,748	5,753	13,379	4,083
2006年度	8,530	4,849	13,379						
2005年度	6,017	4,786	10,803						
2004年度	5,712	6,140	11,852						
2003年度	5,723	6,314	12,037						
2002年度	4,915	6,137	11,052						
2001年度	3,742	5,605	9,347						
2001～2007総計	44,940	40,684	85,624						

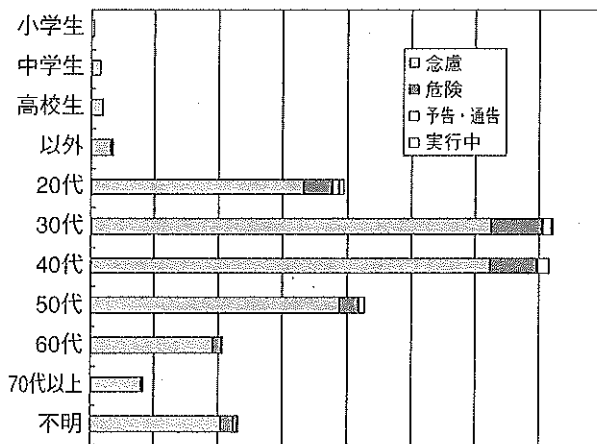
グラフ 1



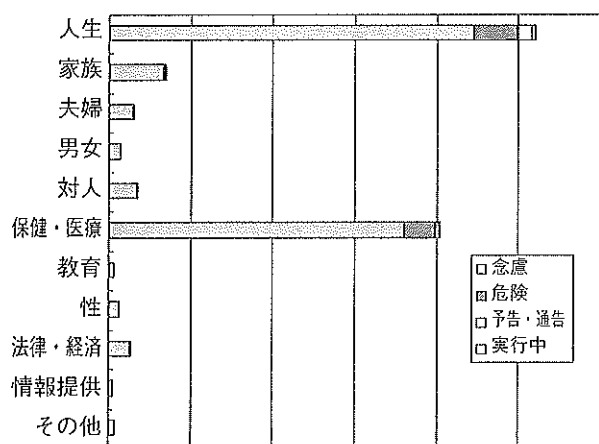
グラフ 2



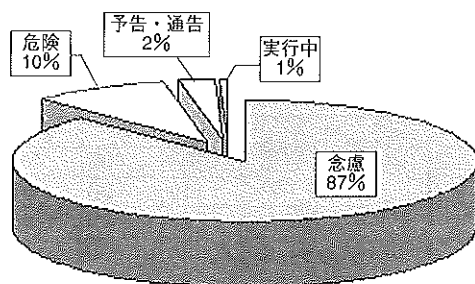
グラフ 3



グラフ 4



グラフ 5



「自殺予防いのちの電話」(07年9月～08年3月)の
受信件数 全体(17,154)とその内の自殺志向(5,753)
表1(P18)

- グラフ 1 年代別グラフ
グラフ 2 問題別グラフ
グラフ 3 自殺志向の段階別：年代別
(念慮 危険 予告・通告 実行中)
グラフ 4 自殺志向の段階別：問題別
(念慮 危険 予告・通告 実行中)
グラフ 5 自殺志向の段階別
(念慮 危険 予告・通告 実行中)

(5) 相談状況・背景票 (2007年9月10日～2008年3月10日)

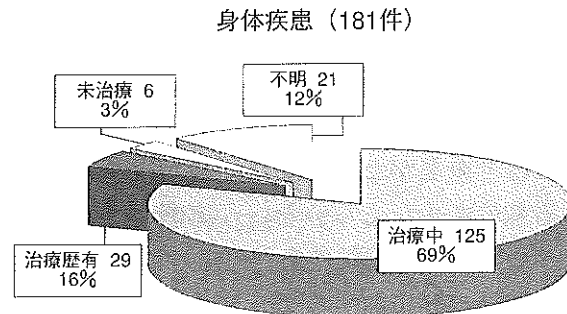
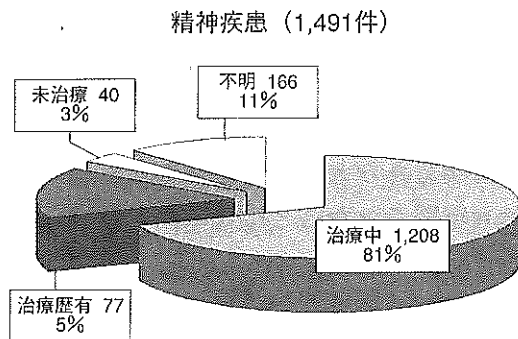
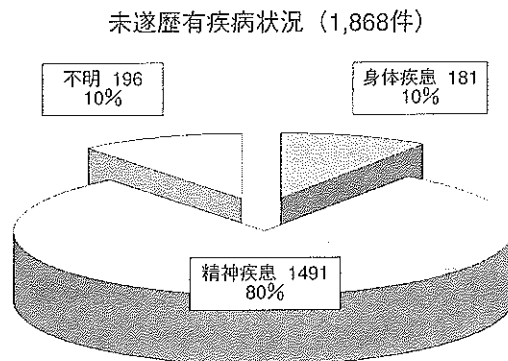
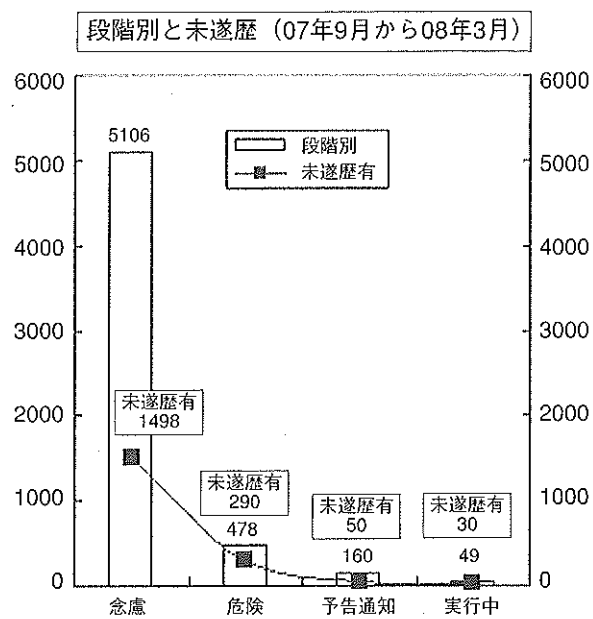
集計結果

項目	番号	男	女	計	全国	全国地域が受けた回線数			
性別 (I)	1 男	10014				1 北海道		431	
	2 女		6780	17262		2 青 森		197	
年代 (II)	3 10代	362	197	560	空白1	3 秋 田		156	
	4 20代	1307	957	2271	7	4 岩 手		186	
	5 30代	2408	1538	3961	15	5 宮 城		289	
	6 40代	2354	1410	3787	23	6 山 形		157	
	7 50代	1309	1184	2503	10	7 福 島		142	
	8 60代	509	602	1112	1	8 新 潟		459	
	9 70代以上	143	261	406	2	9 長 野		1029	
	10 不明	1499	578	2089	12	10 群 馬		467	
自殺に関する状況 (III)	11 念慮	2672	2417	5089		11 栃 木		269	
	12 危険	222	251	473		12 茨 城		354	
	13 予告	102	58	160		13 埼 玉		631	
	14 実行中	23	25	48		14 千 葉		470	
自殺未遂 (IV) 自殺未遂有 40代30代50代の順	15 あり	1395	1132	2527		15 東 京		1760	
	16 なし	2195	1826	4021		16 神奈川		1372	
	17 不明	4011	2322	6333		17 山 梨		108	
健康 (V) 身体疾患治療中 30代40代50代の順	18 身体疾患	982	789	1771		18 静 岡		382	
	1 未治療	47	50	97		19 岐 阜		220	
	2 治療中	590	503	1093		20 愛 知		796	
	3 治療歴有	168	134	302		21 三 重		373	
精神疾患治療中 40代30代50代の順	19 精神疾患	4156	3813	7969		22 京 都		364	
	1 未治療	293	282	575		23 奈 良		110	
	2 治療中	3112	2863	5975		24 大 阪		988	
	3 治療歴有	204	220	424		25 兵 庫		689	
入院中・入院歴 (VI)	20 あり	1863	1434	3297		26 和歌山		88	
	21 なし	1394	1340	2734		27 鳥 取		82	
	22 不明	4552	2693	7245		28 鳥 根		83	
通院中・通院歴 (VII)	23 あり	4169	4008	8177		29 岡 山		589	
	24 なし	920	635	1555		30 広 島		377	
	25 不明	3083	1226	4309		31 徳 島		99	
家族・同居人 (VIII)	26 あり	3051	4083	7134		32 香 川		189	
	27 なし(ひとり暮らし)	3318	1625	4943		33 愛 媛		140	
職業 (IX)	28 定職	2033	1086	3119		34 高 知		339	
	1 サラリーマン	610	216	826		35 福 岡		372	
	2 自営業	127	44	171		36 佐 賀		35	
	3 パート	221	336	557		37 長 崎		210	
	4 フリーター	140	55	195		38 熊 本		226	
	29 無職・失業	4360	2423	6783		39 大 分		304	
	30 主婦	18	2025	2043		40 鹿 児 島		121	
生活・経済 (X) 複数の○可	31 孤独・生き方	5053	3646	8727		41 沖 縄		339	
	32 経済苦	1345	796	2141	空白9	42 携 帯 約		3310	
	1 借金	137	125	263	1	43 不 明		120	
	2 サラ金	35	18	54	1	44 石 川		100	
	3 倒産	31	17	48		45 富 山		257	
	4 失業	306	79	387	2	46 福 井		72	
	5 リストラ	48	27	76	1	47 滋 賀		269	
	33 介護・家族の病気	321	507	828	5	48 山 口		50	
	34 離婚・離別・死別	516	573	1089	4	49 宮 崎		108	
	35 子どもの問題	129	460	589	4	新聞			
フリーダイヤル 情報の入手方法 (ii)	1 病気	14	104	120	2	朝日		389	406
	2 非行	9	30	39		読売		19	38
	3 ひきこもり	12	30	42		毎日		22	25
	41 ラジオ	142	129	271	2	地方紙		4	6
	42 テレビ	427	424	851	9	記事		87	65
	43 ポスター・カード	235	228	463	1	その他		1	4
	44 インターネット	202	160	362	1	不明		487	468
								955	955
								3012	7981
								31	31

自殺に関する状況（念慮：危険：予告・通告：実行中）

受信件数5,793件中の未遂歴有の1,868件の疾病背景

（注：無回答もあり、それぞれの数値は前ページ背景票と一致していません。）



自殺志向（念慮・危険・予告通知・実行中）の未遂歴有りの年代

年代	全体	男	女
10	41	29	12
20	258	98	159
30	498	253	241
40	584	383	195
50	244	132	110
60	81	25	56
70	48	9	39
不明	114	63	51

緊急車の出動とともに、初期消火も重要である

—FD「自殺予防いのちの電話」背景票の意味するもの

はじめに

2007年度は内閣府が設置した「自殺総合対策の在り方検討会」最終答申を提出、その結果6月8日に「自殺総合対策大綱」が閣議で決定された。この大綱のなかで、われわれがかねてから主張していた『世界自殺予防の日』（9月10日）が、わが国でも制定され、しかも9月10日に始まる1週間を『自殺予防週間』と定められたのである。

それだけではなく、従来12月初旬の1週間だけ実施してきたフリーダイヤル『自殺予防いのちの電話』を、この世界自殺予防の日に移行、その後は毎月10日に実施するようになり今日に至っている。この評価については別に譲るが、少なくとも稼働率が高く半年で17,000件余りと、従来の年間相談数をはるかに越えている。

危機の世代に的を射たフリーダイヤル

最近では男性からの訴えが女性からの訴えを上回っているが、これは自殺志向に限定しても同様であり、2007年度はさらにその傾向が顕著になった。詳細は別表（P21）のようであるが、世代別では30代と40代が多い。この世代の社会不安と自殺危機を反映しているのであろうか。20代についても有意に高いのは雇用不安からであろうか。この辺はさらに解析が必要となろうが、いのちの電話は社会的にも心理的にも危機にある中年世代によって占められるようになった。FD「自殺予防いのちの電話」はまさに的を射た企画であったというべきであろう。

治療歴、自殺未遂歴のある利用者が多い

いのちの電話の通常の電話相談と同じように、フリーダイヤルにおいても、精神疾患、身体疾患を問わず80%に治療歴有か、現在治療中である。また自殺志向のある者に限定してもこの比率はそれほど差異がない。また注目すべきは、未遂者は精神疾患ありとする者だけでなく身体疾患のある者にも少なくないという実態がフリーダイヤルでも証明されたことになる。自殺の危険因子はうつ病などの精神疾患だけではない。

昨年同様未遂に関するデータとして、2,527件を得たが、自殺を訴えた者のほぼ半数に未遂歴があったわけである。これほどの高い数値を得られたのは、「自殺予防いのちの電話」の広報が、有力な全国紙、地方紙に繰り返し掲載され、その他J R各社などの公的場所に掲示された結果、自殺率の高い世代に周知されたということであろう。自殺未遂は自殺の最大の危険因子と言われる。昨年も紹介したが、いのちの電話での医療に関する訴えは、従来から未治療群よりも治療群が多い。未治療群には適切な紹介が望ましいが、治療群についてはセカンドオピニオンを求めるグループと、治療を受けているにもかかわらず病気が思わしくないと訴える場合も多い。

横浜市立大学付属市民総合医療センターの高度救急救命センターは、搬送された自殺未遂者すべての診療を実施、心理的危機介入、精神医学的介入と評価・治療、ソーシャル・ワークを行うなど、貴重な調査を積み上げてきた。ここで得られた未遂者についての調査研究は、「自殺予防いのちの電話」に訴えられた事例とかなりの共通性を見出すことができる。それは搬送される前の精神科受診歴が7割から9割を占めているという実態である。自殺危機は未治療群だけに高いのではなく、治療群でもかなり高率に自殺危機は発生するのである。こうした統計的数値が示しているのは、精神疾患の治療だけでは自殺防止につながらないということである。治療と並行して、